

事後評価報告書

平成30年度第1回運営・評価委員会

平成30年7月20日（金）

研究種別	総理研研究 ・ 重点化研究	
研究課題名	雪崩発生条件の解明と観測機器の開発	
研究期間	平成27年度 ～ 平成29年度	
	評価項目	平均点
1	研究目標の達成度	3.2
[コメント] 県内の雪崩の発生しやすい箇所を地図上に示したこと、富士山での雪崩発生場所の確率的予測図を作成できたことは評価できる。 雪崩観測機器を開発し特許を出願した。この測定器が土砂崩落の二次災害軽減にも利用できることを示した。これらのことは大いに評価できる。 雪崩の発生メカニズム解明には至らなかったが、火山観測網が雪崩発生を検出に利用できることを明らかにした。この成果は雪崩研究に役立つと考えられる。 今後、国内外の研究者との情報交換を通して研究を発展させること、得られた研究の成果を行政や県民にわかりやすく還元されることを期待する。		